



きらぼし

【ご報告】秋の一斉清掃 開催報告（環境部より）

10月15日（日）に実施しました町内一斉清掃では、約170名とたくさんの方に参加して頂きました。春の一斉清掃は雨天により中止してしまいましたが、今回の一斉清掃では1時間という短い時間で公園や道路周辺の清掃および雑草除去を実施しました。雑草除去につきましては見違えるほどきれいになりました。参加頂きました皆様のご協力により町内の道路や公園もより清々しくなったと感じます。ご協力大変有難うございました。



【お知らせ】後期町内会費集金のお知らせ

（会計より）

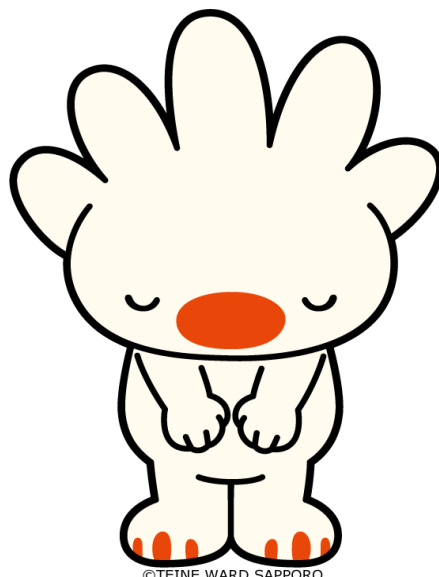
11月中に後期町内会費を集金させていただきます。対象となる世帯には別途ご案内をお配りいたしますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



【ご報告】10/21夜間パトロール報告

先日ご案内をしておりました夜間パトロールは、荒天のため中止といたしました。

また実施を検討しておりますのでその際もぜひご協力をいただけますと幸いです。

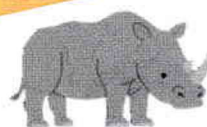


©TEINE WARD SAPPORO

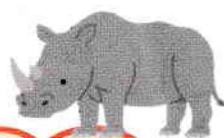
よってらっサイ



みてらっサイ



市民防災センターに 行こう！



施設運営の方向性

- ◇ 防火・防災を楽しく学べる場の創出
- ◇ 災害対策の自分ごと化と実践の促進
- ◇ インタラクティブな情報の収集・発信

この3つの方向性の下、ハード面の一部更新とソフト面の充実強化を図ったんだよ。

ハード面の更新

～開館から20年、さらに実践的で臨場感溢れる体験施設へ～

1. 「受付システム」(新設)

- ・ 来館受付の簡略化
(無人化とタッチパネルの導入)
- ・ さらに英語・中国語・韓国語に対応し、外国の方も、より来館しやすくなりました。



ボーサちゃん

2. 「消火体験」(リニューアル)

- ・ プロジェクションマッピングを活用し、よりリアルな火災映像(再現)と模擬消火器による、初期消火の体験ができます。



3. 「煙避難体験」(リニューアル)

- ・ 火災時の煙の特性を知り、避難経路に設置された各種センサーが、避難姿勢や行動を検知、評価します。
- ・ 体験後、映像で振り返りができます。



4. 「学習コーナー」(新設)

- ・ 「火災予防」や「地震・風水害」等に係るパネル展示と、デジタルサイネージにより、災害の知識や備えを学べます。
- ・ 翻訳アプリによる多言語(英語・中国語・韓国語)解説に対応。



※その他の体験コーナー(地震、暴風、災害バーチャル体験)及びはしご車等の展示については従来どおりです。

1. 「防災行動計画（マイ・タイムライン）作成支援」（新たな取組）

- ・風水害から身を守るための避難方法として、防災行動計画（マイ・タイムライン）を紹介します。
- ・家族や個人のマイ・タイムライン作成支援を通じて災害対策の自分ごと化を推進します。



2. 「防火・防災コンシェルジュ」（新たな取組）

- ・個人、家庭、地域、団体等から防火・防災・減災等の活動に関する相談を受け、市民目線に立った助言やサポートを行い、地域防災への貢献を目指します。
- ・一般相談は、センター職員が随時受付、相談に応じます。
- ・個別相談は、水曜日及び土曜日の午後、予約に基づいて専門の相談員が対応します。



3. 「災害記録ライブラリー」の作成・運営（新たな取組）

- ・過去に発生した災害の記録映像や資料、災害に関する情報等を収集・整理し、館内ディスプレイやウェブサイト上で公開します。
- ・災害の記憶の風化を防ぎ、自分ごととしての防災意識高揚と防災対策の重要性の認識を高めます。



各種ご相談・お問い合わせは

札幌市民防災センター

（運営受託：公益財団法人 札幌市防災協会）

〒003-0023 札幌市白石区南郷通6丁目北

TEL. 011-868-3535（10名以上でご来館の際は、事前に申し込み願います）

開館時間：午前9時30分から午後4時30分

休館日：年末年始及び第1、第3月曜日（祝日の場合は翌日）

入館料：無料



防災・応急手当講師派遣のテーマ例など

【テーマ例】

- ・ 災害に備えて（基本編）
- ・ 災害から学ぶ危機管理（応用実践編）
- ・ 救命救急の大切さ（応急手当の基礎知識）
- ・ 成人・乳幼児に対する応急手当
心肺蘇生法、異物除去法、AED の使用方法、止血法など
- ・ 企業の自衛消防実践講座
- ・ 企業の安全大会（作業現場での事故対応と救命処置）

【講師派遣料】

- ・ 町内会、自治会など：33,000 円（税込）～
- ・ 上記以外（一般企業等）：55,000 円（税込）～

※内容により追加料金をいただく場合があります

防災用品の一例

【非常用食料品】



《乾燥非常食》



《缶入パン》

【住宅用防災機器】



《住宅用
火災警報器》



《住宅用消火器》

【避難用品】



《折たたみヘルメット》



《携帯ラジオ》



《折たたみ式給水タンク》



《簡易トイレ用品》

地域の味方！ 札幌市防災協会が、皆さんのお手伝い！！

防火・防災コンシェルジュ（消防局委託事業）【無料】

“札幌市民防災センター”では、個人、家庭、地域や団体等から防火・防災・減災等の相談を受け、助言やサポートを行い、地域の防災力向上のお手伝いをします



防災・応急手当講師派遣【有料】 ※内容詳細は裏面に掲載

地域・企業・団体からのご希望に応じ、「防災・減災」、「避難所運営」などの各種研修会に講師を派遣し、防災技術を伝承し、地域の防災力向上のお手伝いをします
また、いざという時のための
応急手当の知識と技術を身に付けるためのお手伝いをします



防災用品等の販売 ※販売品例は裏面を参照

町内会、自治会、マンション等や個人での災害用備蓄品（非常用食料品・避難用品など）のほか、住宅用防災機器（火災警報器・消火器など）の斡旋・販売、使わなくなった消火器の回収（有料）をしています



自衛消防訓練サポート事業（消防局委託事業）【無料】

地域の会館等において消防計画に基づき実施する消防訓練（初期消火、通報、避難訓練など）に、防火管理者の要請で立ち合い、実施に際しての助言と訓練実施後の講評を行い、防火管理体制向上のお手伝いをします



お問い合わせ：公益財団法人札幌市防災協会
〒003-0023 札幌市白石区南郷通6丁目北
TEL:011-861-1211 FAX:011-271-0804
ホームページ URL <https://www.119.or.jp>



会員戸数 2,354戸
(令和5年7月1日現在)

星のまたたき

令和5年9月3日発行
第393号
夢トピア星置町内会連合会



今年もコスモプラザの改修が行われています

コスモプラザの今年度の改修については、カラオケ機械の入れ替え（7月）及び駐車場舗装・集水桝等の改修工事（9月28〜30日）を行いました。たほか、駆動装置がたびたび故障していた正面玄関の自動ドア（内外）の改修等を行ないます（10月）。



この自動ドア改修には札幌市の補助金を六十万円見込んでいます。なおこの工事については、今年の総会議案書の中で予算案「コスモプラザ管理運営費」の収入のうち、雑収入の備考欄が「預金利息」となっていました。が、「預金利息及び札幌市からの補助金」と修正させて頂きました。

クリーンさっぽろ施設見学会の報告

～ごみは正しく出しましょう～

9月14日、4年ぶりに開催された手稲区クリーンさっぽろ推進員会の見学会に参加しました。区役所に集合し、バスで中沼リサイクル団地にある「中沼資源選別センター」に向かいました。センターでは、家庭や事業所から出るビン缶ペットボトルを1日に約80トン（収集車約百台分）を選別してリサイクル原料として出荷しています。会議室で説明を聞いた後、工場の中を見学。近年はビンよりかさ張るペットボトルの割合が多く、センターの処理能力通りには処理できず、夜8時位までかかること



資源選別センターから4つのお願い

- 1 缶やペットボトルはつぶさないで
- 2 ビン缶ペット以外のごみを混ぜないで
- 3 ペットボトルのフタは外して下さい
- 4 缶やボトルは軽くすずいで出して下さい

もあるそうです。当センターでは、磁気選別機や風力選別機、手選別で鉄缶、アルミ缶、色ごとのビン、ペットボトルに選別しています。見学の最後に左図の4つのお願いがありました。

ごみ収集車から下したごみは、巨大なごみピットに貯められ、そこから大きなクレーンでごみをつかんで焼却炉に入れています。工場の制御室には焼却状態を監視するたくさんモニターテレビが並んでいます。ごみは悪臭や有害物質が分解するよう850度の温度



次に西区にある発寒清掃工場を見学しました。この工場は、燃やせるごみを1日に600t（ごみ収集車約3百台分）焼却できる施設。会議室で説明を受けた後、工場を見学しました。

今回各施設を見学して、改めて資源物やごみを正しく出すことの大切さと、それを地域の皆さんに意識してもらう努力の必要性を感じた次第です。（環境部長 中田稔）

ごみ袋に混ざって金槌などの不適物が入って来ることもあり、機械の故障の原因になることもあるとのことです。



電気火災にご注意



ひと頃は、放火やたばこの火の不始末が火災原因の上位を占めていましたが、今は電気火災がトップとなっています。（手稲区 令和5年の9月現在）

電気火災は、電気製品や電気コードなどが原因となつて発生する火災のことです。

生活に欠かせない電気製品ですが、電気は大きなエネルギーが有るので注意が必要です。

コードの被覆が破れて中の2本の線が接触した

り、コンセントにほこりが溜まるとショートを起こして火花が発生し、火事になります。

電気火災は、図に有る様に、過度なタコ足配線やコンセントにホコリがたまつて起きることが有り、注意が必要です。

また、天井裏の電線は20～30年以上経つとだんだん劣化して絶縁が弱り、ショートの原因になります。これを定期的に交換できれば良いのですが中々そつもいきません。

寝ているうちに発生した火事に気づくのが遅れることが無いように、火災警報器を設置しましょう。



でも家庭用の火災警報器のバッテリーは寿命が10年程度。

設置しただけで安心せず、定期的に点検（★）し、10年過ぎたら本体ごと交換することも忘れずに。

（★）点検ボタンを押すか付属のひもを引くと正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。

マンション大規模修繕工事（もうすぐ完了）



令和5年9月26日撮影（左：貳番館、右：壱番館）

10月に入り、暑さも和らぎ心地良い季節となりました。7月号からご紹介しておりましたイトーピア星置シティビュー（南十字星町内会）の7ヶ月間に渡る修繕工事もういよいよ今月末で完了します。建物を覆っていたネットは全て取り外され、壱番館では仮設足場も全て撤去されたため、日常の景色と生活に戻りつつあります。

今回の大規模修繕工事では、外壁の補修塗替え、屋上の防水工事、バルコニーの防水塗装、管理棟の玄関タイルの補修等が行われました。

因みに鉄筋コンクリート製のマンションは50年程度で建替えられている事例が多いようですが、国土交通省の検証では、平均寿命が68年と示されています。

当然ですがこれには定期的な修繕工事が必要です。イトーピア星置シティビューの場合、築28年で今回を含めて2度目の大規模修繕工事が実施されました。

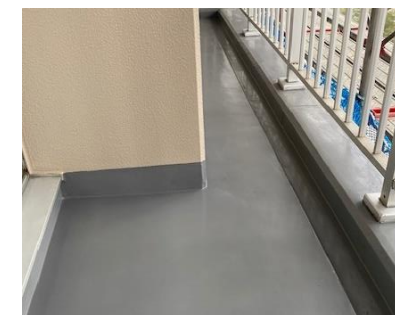
当マンションの修繕計画によると次回は、15年後の令和20年（築43年目）に3度目の修繕工事が予定されています。仮に平均寿命通り68年とすれば、さらに4度目？がある計算になります。



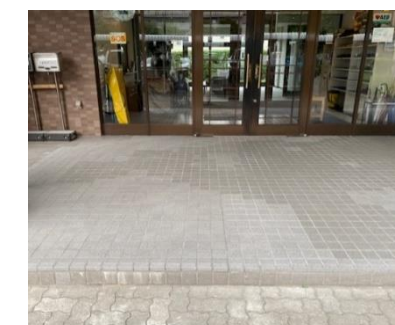
左写真：修繕前



左写真：修繕前



右写真：修繕後



右写真：修繕後

これまでご紹介させていただきましたマンション大規模修繕工事の様子も今月号で終了させていただきました。皆様の何かの参考になったのかとも不安ですが……。

